Ⅳ　地域保健課の業務概要

地域保健課の業務は、保健師関係指導事業、母子保健事業、成人・老人保健事業、総合的な自殺対策推進事業、地域・職域連携推進事業、栄養改善事業及び精神保健福祉事業を主要業務として、管内市町及び関係機関と連携を図りながら事業を推進している。

1　保健師関係指導事業

保健師は、企画課・地域保健課・疾病対策課・成田支所に配属され、保健所内各種保健指導業務の他、市町保健活動に対して、各種会議や連絡会等で計画・評価の支援を行っている。

保健活動の推進を図るとともに、管内の保健師を対象とした現任教育連絡会や研修会の開催、印旛郡市保健指導者研究会等への支援、管内看護管理者や在宅療養を支える関係者を対象とした研修会を開催し、保健医療従事者の資質向上に努めている。

（1）管内概況

管内の保健師就業数は、保健所 27 人（次長 1 人、企画課 3 人、地域保健課 7 人、疾病対策課 9 人、成田支所 7 人）であり、市町保健師は令和 7 年 4 月 1 日現在 195 人（新規採用者 12 人）である。市町で保健衛生関係に従事する者は 115 人、福祉 36 人、介護保険 25 人、他 19 人となっている。

表１－（1）管内保健師就業状況（令和 7 年 4 月 1 日現在）

（単位：人）

区分／年度	総数	保健所	市町			
			保健衛生	福祉	介護保険	その他
令和 5 年度	208	22	120	30	23	13
令和 6 年度	215	24	120	32	25	14
令和 7 年度	222	27	115	36	25	19
成田市	33	－	18	8	3	4
佐倉市	39	－	27	6	4	2
四街道市	17	－	12	2	2	1
八街市	17	－	10	0	5	2
印西市	32	－	14	9	4	5
白井市	24	－	13	5	3	3
富里市	16	－	10	3	2	1
酒々井町	9	－	7	0	1	1
栄　町	8	－	4	3	1	0

※産休、育休中の正規職員を含む。

（２）保健所保健師活動

地域保健法の施行により対人サービスの多くは住民に身近な市町が実施しており、保健所保健師は、広域的・専門的な活動を中心に事業を実施し、市町や関係機関と連携を取りながら支援活動を展開している。

表１－（２）家庭訪問等個別指導状況（令和８年３月 31 日現在）

（単位：件）

区分／種別		家庭訪問		訪問以外の保健指導				個別の連携・連絡調整
				面接		電話	メール	
		実数	延数	実数	延数	延数	延数	延数（再掲：会議）
総数		254	665	426	596	3,398	870	3,028(13)
感染症（結核除く）		36	41	26	36	1,421	725	1,415
結核		97	418	91	218	1,115	135	1,003 (7)
精神保健福祉		13	13	4	4	20	－	－ (－)
難病		78	157	115	132	406	－	516(6)
長期療養児		29	34	26	26	140	－	86
生活習慣病		－	－	1	3	3	－	8
母子保健	妊産婦	－	－	－	－	2	－	－ (－)
	乳幼児	－	－	－	－	2	－	－ (－)
	その他	－	－	－	－	1	－	－ (－)
その他の疾病		1	2	164	177	50	－	－ (－)
その他		－	－	－	－	238	10	－ (－)
訪問延世帯数		242	665					

（３）保健師関係研修（研究）会実施状況

ア　管内保健師業務連絡研究会

表１－（３）－ア　管内保健師業務連絡研究会実施状況

開催年月日	テーマ	主な内容	参加人員
令和７年 ９月 16 日	新規採用保健師研修	1　印旛保健所の業務概要について （合同講義） 2　情報交換	14 名
令和７年 10 月２日	災害時保健活動について	演習・講義 「災害時保健活動～避難所運営ゲーム(HUG)を活用した避難所の健康管理について～」	64 名

イ　所内保健師研究会

表１－（３）－イ　所内保健師研究会実施状況

開催年月日	主　な　内　容	参加人員
令和７年 ６月19日	1　今年度の保健師現任教育体制・予定について 2　新任期保健師の目標設定について 3　各課の事業共有について 4　業務研究について	23名
令和７年 ９月２日	1　業務研究について（グループワーク含む） 2　その他	23名
令和７年 11月21日	1　保健師記録について（グループワーク） 2　保健師記録（基準）を考える 3　業務研究収録及び公衆衛生学会の発表について	22名
令和８年 ３月５日	1　目標の振り返りと来年度の目標について（グループワーク） 2　先輩に聞く、仕事と人生のヒント 3　その他	25名

ウ　保健所保健師ブロック研修会

表１－（３）－ウ　保健所保健師ブロック研修会実施状況

開催年月日	主　な　内　容	参加人員
令和８年 ２月９日	講演「セルフ・コンパッションを保健活動に活かす」 グループワーク・情報交換 「私たちのウェルビーイング」（山武保健所担当）	19名

エ　その他

表１－（３）－エ　その他

開催年月日	主　な　内　容	参加人員
令和７年 ６月20日	印旛郡市保健指導者研究会(第１回) 事業検討：予防接種	20名
令和７年 ８月４日	印旛郡市保健指導者研究会(第２回) 事業検討：母子保健(産後ケア・プレコンセプションケア等)	22名
令和７年 11月21日	印旛郡市保健指導者研究会(第３回) 事業検討：成人保健(がん検診)	14名
令和８年 １月21日	管内保健師現任教育連絡会 1　保健師現任教育の現状と課題について 2　災害時保健活動の現状と課題について 3　印旛保健所管内保健師業務連絡研究会の開催について 4　管内保健師現任教育実績・計画について	17名

（4）管内看護管理者研修会

表１－（4）看護管理者研修状況

開催年月日	主　な　内　容	参加人員
令和7年 10月31日	1 講演「アンガーマネジメント研修 ～不毛な怒りに振り回されないトレーニング～」 講師 株式会社 実践教育ラボ　代表取締役　萩原　知子氏 2　グループワーク	30名

2　母子保健事業

広域的・専門的な取り組みとして、管内専門医療機関・市町との連絡会議を開催し、母子保健事業を推進している。また、長期療養児療育指導として、個別支援や講演会等を実施し、災害時支援を含めた療養支援の充実を図っている。

思春期保健事業では、学校保健と地域保健の連携を深め、思春期保健の推進を図るため、学校関係者や行政保健師等を対象に研修会を実施している。

（1）母子保健推進協議会

母子保健分野における広域的な健康課題について、管内市町・医師会・関係医療機関・児童相談所・学校保健関係者等の代表者から構成される協議会を開催している。

表２－（1）母子保健推進協議会実施状況

開　催　年　月　日	参加者数	主　な　協　議　内　容
令和8年2月25日 ～令和8年3月17日 （書面開催）	12名	1　報告　管内の母子保健の現状 令和7年度印旛保健所母子保健事業実績 2　議題　令和7年度 産後ケア事業に係る様式の統一について 3　その他 管内市町の相談窓口一覧について ※　印旛市郡医師会および千葉県助産師会印旛地区部会へは、事前説明を実施した。

（2）母子保健に関する連絡調整会議

管内市町の母子保健事業の情報交換等のため、印旛保健所母子保健担当者会議及び産後ケア連絡会を開催した。

表２－（2）母子保健に関する連絡調整会議実施状況

名　称	開催年月日	参加者数・職種	内　　容
母子保健 担当者会議	令和7年 8月22日	19名 保健師等	1　令和6年度母子保健事業実績と令和7年度母子保健事業計画について 2　母子保健事業に関する課題、検討事項について (1) 5歳児健康診査について (2) こども家庭センターについて

			(3) 母子保健DXについて 3 その他
第1回 産後ケア連絡会	令和7年 10月23日	16名 保健師等	1 管内市町での産後ケア事業の実施状況について 2 産後ケア事業の様式の統一について 3 その他
第2回 産後ケア連絡会	令和8年 2月9日	15名 保健師等	1 産後ケア実施報告書の（案）について 2 医療機関からの意見照会の内容共有について 3 産後ケア事業請求書の統一の実施について 4 令和7年度産後ケア事業に関する取り組み状況の振り返り及び令和8年度以降の産後ケア事業に関する内容の取り組みについて 5 その他

（3）母子保健従事者研修会

管内の母子保健従事者を対象に、研修会を実施し、資質の向上を図っている。

表2－（3）母子保健従事者研修会実施状況

名 称	開催年月日	参加者数・職種	内 容
母子保健従事者 研修会	令和7年 12月10日	会場参加 14名 後日配信申込 20名 (視聴回数 40回) 保健師等	1 講義 3歳児健康診査から就学にむけた発達支援 講師 東邦大学医療センター佐倉病院 医師 井村 求基 氏 2 グループ別情報共有

（4）人工妊娠中絶届出

母体保護法第25条により、医師から届出がなされた人工妊娠中絶報告に基づく妊娠週数別年齢階級別の届出数である。ただし、届出数は管内医療機関が届け出た件数である。

表2－（4）人工妊娠中絶届出状況

（単位：人）

区分 / 妊娠週数	令和5年度	令和6年度	令和7年度 総数	20歳未満	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50歳以上	不詳
総数	397	432	477	41	104	92	96	85	53	6	0	0
満7週以前	162	204	228	13	41	49	52	43	29	1	0	0
満8週～満11週	202	190	212	22	54	36	41	34	21	4	0	0
満12週～満15週	14	18	13	2	3	4	2	1	1	0	0	0

満16週～満19週	13	7	18	3	5	3	0	4	2	1	0	0
満20週～満21週	6	13	6	1	1	0	1	3	0	0	0	0
不　　詳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

（5）不妊・不育相談事業

県では、不妊や不育に悩む夫婦等に、一般的な相談や検査・治療に関する情報提供、精神面での相談を不妊・不育オンライン相談で行っている。各保健所でも、随時、保健師が面接や電話等により相談支援を行っている。

（6）小児慢性特定疾病医療費助成制度事業

平成27年1月1日に改正児童福祉法が施行され、小児慢性特定疾病児童等の健全育成の観点から、小児慢性特定疾病医療支援に係る医療費の一部を助成し、小児慢性特定疾病児童等家庭の医療費負担の軽減を図っている。令和7年4月1日からは、16疾患群801疾病の児童等（新規18歳未満、継続20歳未満）が対象となっている。

表２－（６）小児慢性特定疾病医療費助成制度受給者状況（各年度3月31日現在）

（単位：件）

疾患名		令和5年度	令和6年度	令和7年度	成田市	佐倉市	四街道市	八街市	印西市	白井市	富里市	酒々井町	栄町
総数		548	537	520	105	115	64	43	99	45	25	13	11
1	悪性新生物	74	76	78	16	17	14	5	17	3	2	2	2
2	慢性腎疾患	27	21	20	3	5	2	3	3	1	1	1	1
3	慢性呼吸器疾患	45	41	42	10	12	5	2	7	3	2	0	1
4	慢性心疾患	83	86	77	12	12	8	10	17	11	4	2	1
5	内分泌疾患	82	69	64	15	17	7	3	15	4	2	1	0
6	膠原病	17	23	20	2	7	2	1	3	1	3	1	0
7	糖尿病	35	32	30	7	7	2	2	5	1	2	3	1
8	先天性代謝異常	18	18	18	6	5	2	2	2	0	0	0	1
9	血液疾患	10	12	12	2	3	1	3	0	1	1	0	1
10	免疫疾患	6	6	6	0	1	0	1	2	2	0	0	0
11	神経・筋疾患	56	57	57	12	11	5	8	10	6	4	0	1
12	慢性消化器疾患	52	60	61	15	12	7	2	13	8	2	2	0
13	染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群	23	19	19	1	3	4	1	4	2	2	0	2

14	皮膚疾患	5	4	5	2	2	0	0	0	0	0	1	0
15	骨系統疾患	13	12	10	1	1	5	0	1	2	0	0	0
16	脈管系統疾患	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0

（7）小児慢性特定疾病児童等自立支援事業

児童福祉法第 19 条の 22 に基づき、慢性的な疾病にかかっていることにより、長期にわたり療養を必要とする児童等の健全育成及び自立支援を図るため、小児慢性特定疾病児童等及びその家族からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言、関係機関との連絡調整等を行う。

ア　研修会、講演会、交流会等

表２－（7）－ア　研修会、講演会、交流会等の実施内容

名　称	実施年月日	参加人数・内訳	内　容
支援者向け研修会	令和7年 8月14日	会場参加　14名 ZOOM参加　14名 後日配信申し込み19名 視聴回数　30回	1 講演　「子どもの心臓病を知ろう ～疾患と支援～」 講師　東京情報大学看護学部 教授 水野　芳子　氏 2 講演　「心臓病の子どもを持つ家族の 課題と教育現場への要望」 講師 全国心臓病の子どもを守る会 千葉支部副支部長 白倉　里美 氏

イ　療育相談指導事業（療育指導連絡票に基づくもの）

表２－（7）－イ　療育相談指導内容　　（単位：人）

内　容	令和5年度	令和6年度	令和7年度
相談者数（延）	34	35	15
家庭看護指導	22	18	12
食事・栄養指導	1	8	1
歯科保健指導	0	1	0
福祉制度の紹介	2	3	5
精神的支援	0	0	0
学校との連絡	0	0	0
家族会等の紹介	0	0	0
その他	18	41	24

ウ　訪問指導事業（訪問相談員派遣を含む）

表２－（7）－ウ　訪問指導事業実施状況（疾患別）　　（単位：件）

疾患名	令和5年度	令和6年度	令和7年度
総数	9	14	34
慢性呼吸器疾患	8	5	14
慢性心疾患	－	3	4
神経・筋疾患	1	1	4
染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群	－	2	7
慢性消化器疾患	－	2	2
先天性代謝異常	－	1	1
悪性新生物	－	－	1
膠原病	－	－	1

エ　窓口相談事業

表２－（7）－エ　相談内容　　（単位：人）

内容	令和５年度	令和６年度	令和７年度
相談者数（延）	82	74	26
申請等	59	35	12
医療	－	3	4
家庭看護	15	32	5
福祉制度	6	－	4
就労	－	－	－
就学	－	－	－
食事・栄養	－	－	－
歯科	－	－	－
その他	2	4	1

オ　訪問相談員派遣事業

表２－（7）－オ　訪問相談員派遣事業実施状況

区分／年度	人数	回数	実人員	延人員
令和５年度	－	－	－	－
令和６年度	1	2	1	2
令和７年度	－	－	－	－

（8）療育の給付制度

療育医療（児童福祉法第 20 条）は、長期の療養を必要とする 18 歳未満の結核治療のために入院を要する児童に対しての医療給付及び学用品や日用品の支給を行うものである。平成 28 年度以降申請はない。

（9）思春期保健相談事業

学校保健と地域保健の連携を深め、思春期保健の推進を図るため、学校関係者や行政保健師等を対象に講演会を実施している。

表２－（9）－ア　思春期保健関係者会議実施状況

名　　称	開 催 年 月 日	参加者数・職種	内　　容
－	－	－	－

表２－（9）－イ　思春期保健事業講演会

名　　称	開 催 年 月 日	対象者・参加者数	内　　容
思春期保健 研修会	令和７年 12 月 18 日	管内養護教諭、 市町思春期保健担当者等 会場参加 17 名 Zoom 参加 48 名	講演「思春期の自己肯定感を育む関わり ～SOS を出しやすくするための支援～」 講師　臨床心理士･公認心理師 花澤　佳子氏

表２－（9）－ウ　思春期保健事業個別相談

名　　称	開催回数	相談件数	対象者	内　　容
－	－	－	－	－

３　成人・老人保健事業

がん検診の受診率向上のため、がん及びがん検診に関する知識の修得を目的に健康推進員等を対象とした講習会を開催している。

（1）がん検診推進員育成講習会

各市町村の健康づくり推進員、保健推進員及び食生活改善推進員等（以下「推進員等」という。）に対し講習会を行い、がん検診推進員として育成し、これらの人材の協力を得て、各地域でがん検診の声かけ運動等を実施することにより受診率の向上を図る。

令和７年度は、山武保健所が本事業の担当であった。

表３－（1）がん検診推進員育成講習会

開 催 年 月 日	参 加 者 数	内　　容
－	－	－

（注）山武保健所との輪番開催

（2）その他のがん対策事業

なし

4　一人ひとりに応じた健康支援事業

生涯を通じて、一人ひとりが年代や性別、健康状態や生活習慣に応じ、的確な自己管理ができるよう、健康づくりの支援体制を充実することを目的としている。

（1）健康相談事業

身体的、精神的な悩みを有する思春期以降の全年齢層にわたる男女を対象とし、電話相談に応じる。

表４　健康相談実施状況（電話）

（単位：件）

区分／年度	男	女	総　数
令和５年度	13	41	54
令和６年度	36	56	92
令和７年度	29	52	81

5　総合的な自殺対策推進事業

平成 28 年に自殺対策基本法が改正され、すべての都道府県及び市町村が自殺対策計画を策定することとなった。管内市町の自殺対策事業が円滑に行われるよう、各種相談窓口の周知・案内を行い、要請のあった市町が主催する自殺対策会議に出席し、取り組みを情報共有し、関係機関の連携を図っている。

（1）住民向け講演会・相談対象者向け研修会

表５－（1）研修会の実施状況

名　称	実施年月日	参加者数・職種	内　容
ゲートキーパー講習会	令和８年３月 18 日	栄町職員　23 名	栄町からの依頼により栄町職員対象にゲートキーパー養成講習を実施。

（2）その他の事業

自死遺族支援

社会福祉法人千葉いのちの電話による、わかちあいの会「ひだまり」を年６回（偶数月）、個人対面相談を年６回（奇数月）、当保健所を会場に開催している。

ア　わかちあいの会「ひだまり」　　６回開催　　参加者 延 22 名

イ　個人対面相談　　６回開催　　参加者 延 16 名

６　地域・職域連携推進事業

地域保健と職域保健が連携し、生活習慣病予防対策等の保健事業の共同実施や地域保健関係機関等の相互活用、生涯を通じた継続的な保健サービスを提供するための体制整備を推進する。平成 26 年度から平成 28 年度は「がんの早期発見・予防」を、29 年度から令和 5 年度は働く世代へ生活習慣病予防「糖尿病重症化予防」を、令和 6 年度から令和 11 年度までの新たな事業計画及び評価指標を定め、「生活習慣予防（身体活動・運動）」をテーマとして取組を推進している。

表６－（1）印旛地域・職域連携推進協議会開催状況

開催年月日	参加数	主な内容
令和 8 年 1 月 20 日	31 名	1 令和 7 年度事業実績について 2 令和 8 年度事業計画について

表６－（2）印旛地域・職域連携推進協議会作業部会開催状況

開催年月日	参加数	主な内容
令和 7 年 7 月 23 日	19 名	1 地域・職域連携推進事業について 2 印旛地域保健所管内の健康情報データについて 3 身体活動・運動の取り組みについて 4 グループワーク

表６－（3）共同事業開催状況

開催年月日	主な内容
令和 7 年 9 月 3 日	成田労働基準協会主催、全国労働衛生週間説明会時に健康教育実施 テーマ「運動の効果と取り入れ方～未来の自分のために～」（参加者 75 名）
令和 7 年 11 月 27 日	成田労働基準協会主催、年末年始無災害運動説明会時に順天堂大学スポーツ健康科学部と共催で健康教育実施 テーマ「すきま時間で健康アップ～今日から始める簡単エクササイズ」 （参加者 71 名）

7　栄養改善事業

印旛保健所管内はメタボリックシンドローム予備群及び該当者が増加傾向にあり、高齢化が着実に進んでいることから、今後、循環器疾患に罹患する者が増加することが予想される。これらの状況を踏まえ、給食施設や各種栄養関係団体の育成・指導等の栄養改善事業を通じて、地域の健康課題改善に取り組んできた。

（1）健康増進（栄養・運動等）事業

病態栄養指導として、食生活を中心としたＱＯＬ向上のため、炎症性腸疾患の患者・家族を対象に講演会を開催した。

また、高血圧性疾患及び糖尿病の発症者が増加する 40 代から 60 代男女の食生活改善に向け、望ましい運動習慣について講演会を開催した。

表７－（１）健康増進（栄養・運動等）指導状況

（単位：人）

		個別指導延人員								集団指導延人員						
		栄養指導	(再掲)病態別栄養指導	(再掲)訪問による栄養指導	運動指導	(再掲)病態別運動指導	休養指導	禁煙指導	その他	栄養指導	(再掲)病態別栄養指導	運動指導	(再掲)病態別運動指導	休養指導	禁煙指導	その他
実施数	妊産婦	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	乳幼児	－	－	－					－	－	－					－
	20歳未満(妊産婦・乳幼児を除く)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	20歳以上(妊産婦を除く)	－	－	－	－	－	－	－	－	65	36	27	－	－	－	－
(再掲)医療機関等へ委託	妊産婦	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	乳幼児	－	－	－					－	－	－					－
	20歳未満(妊産婦・乳幼児を除く)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	20歳以上(妊産婦を除く)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

ア　病態別個別指導

表７－（１）－ア　病態別個別指導状況　　（単位：人）

区分／種別	計	生活習慣病	難　病	アレルギー疾　患	摂食障害	その他
病態別栄養指導	-	-	-	-	-	-
病態別運動指導	-	-	-	-	-	-

イ　病態別栄養教室・講座等実施状況

表７－（１）－イ　病態別栄養教室・講座等実施状況

名　称	開催年月日	対象者	参加数	内　　容
炎症性腸疾患講演会	令和８年１月 19 日 (動画公開期間 2/10～3/15)	潰瘍性大腸炎、クローン病患者とその家族	会場参加 19 人 （動画視聴回数 66 回、視聴申込者数17 人）	ハイブリット方式 （会場参集・Youtube 配信） ⑴講演 「炎症性腸疾患患者さんに知ってほしい病気と治療の基本」 講師 東邦大学医療センター佐倉病院　消化器内科 教授　松岡　克善　氏 ⑵講演 「腸にやさしく栄養をとるコツ」 講師 東邦大学医療センター佐倉病院　栄養部 管理栄養士　橋本　恵介　氏

ウ　地域における健康づくり推進事業

表７－（１）－ウ　地域における健康づくり推進事業実施状況

名　称	開催年月日	対象者	参加数	内　　容
地域における健康づくり推進事業講演会	令和７年７月 22 日	印旛地域・職域連携推進協議会作業部会、管内市町、管内市町健康づくり等に係る推進員団体、管内事業所給食施設、順天堂大学スポーツ健康科学科	20団体 27 人	講演 「働きながらできる運動とその効果」 講師 順天堂大学　スポーツ健康科学科　先任准教授 大久保　菜穂子　氏 ※印旛地域・職域連携推進事業と共催

エ　国民（県民）健康・栄養調査

表７－（１）－エ　国民（県民）健康・栄養調査状況

調査名	調査地区（対象）	調査年月日・調査内容等
該当なし	該当なし	該当なし

オ　特別用途食品・食品に関する表示指導・普及啓発実施状況

表７－（１）－オ－（ア）食品に関する表示相談・普及啓発実施状況

		業者への相談対応・普及啓発				
		相談（個別）		普及啓発(集団)		
		実相談食品数	延相談件数	回数	延対象者数	内容 (講習会等)
特別用途食品及び特定保健用食品について		－（－）	－（－）	－（－）	－（－）	－
食品表示基準について (保健事項)	栄　養　成　分	13	18	－	－	－
	特定保健用食品	－	－	－	－	－
	栄養機能食品	－	－	－	－	－
	機能性表示食品	－	－	－	－	－
	そ　の　他　※	－	－	－	－	－
健康増進法第６５条第１項 (虚偽誇大広告)		3	5	－	－	－
その他一般食品について (いわゆる健康食品を含む)		－	－	－	－	－

		県民への相談対応・普及啓発			
		相談（個別）	普及啓発(集団)		
		延相談件数	回数	延対象者数	内容 (講習会等)
特別用途食品及び特定保健用食品について		－（－）	－（－）	－（－）	－
食品表示基準について (保健事項)	栄　養　成　分	－	－	－	－
	特定保健用食品	－	－	－	－
	栄養機能食品	－	－	－	－
	機能性表示食品	－	－	－	－
	そ　の　他　※	－	－	－	－
健康増進法第６５条第１項 (虚偽誇大広告)		－	－	－	－
その他一般食品について (いわゆる健康食品を含む)		－	－	－	－

（　）内は、特定保健用食品再掲

※　栄養成分以外の内容だった場合（特保、栄養機能食品、機能性表示食品は除く）

表７－（１）－オ－（イ）食品表示等に関する指導状況（表示違反への対応）

		指導状況（個別）	
		実指導食品数	延指導件数
食品表示基準について（保健事項）	栄養成分※	１(-)	１(-)
	機能性表示食品	-	-
	その他	-	-
健康増進法第６５条第１項（虚偽誇大広告）		1	1
その他一般食品について（いわゆる健康食品を含む）		-	-

※　栄養機能食品、特定保健用食品を含む　　（　）内は、栄養機能食品、特定保健用食品再掲

表７－（１）－オ－（ウ）特別用途食品に対する検査・指導件数　　（単位：件）

管内で製造される特別用途食品数	実検査食品数	延検査・指導食品数
-（-）	-（-）	-（-）

（　）内は、特定保健用食品再掲

カ　食生活に関する正しい知識の普及啓発指導

表７－（１）－カ　食生活に関する正しい知識の普及啓発指導状況

個　別		集団指導		
内　容	延人員	内　容	延回数	延参加者数
-	-	-	-	-

（２）給食施設指導

管内給食施設 373 施設中、73 施設に対して栄養管理及び衛生管理について栄養指導員が食品衛生監視員とともに個別巡回指導を行った。

また、給食施設管理者・従事者研修会は、多くの従事者が受講できるよう、ハイブリッド方式により衛生管理を中心に研修会を開催した。栄養管理担当者研修会等は「日本人の食事摂取基準 2025 年版について～2020 年版からの変更点と活用上の留意点～」と「GLIM 基準による低栄養診断と活用の実際」を取り上げて開催し、各施設における栄養管理の向上を図った。

給食施設状況

表７－（２）給食施設状況　　（単位：件）

施設総数	管理栄養士のみいる施設		管理栄養士・栄養士どちらもいる施設			栄養士のみいる施設		管理栄養士栄養士どちらもいない施設	管理栄養士必置指定施設		調理師のいる施設		調理師のいない施設	栄養成分表示施設	栄養教育実施施設
	施設数	管理栄養士数	施設数	管理栄養士数	栄養士数	施設数	栄養士数		施設数	管理栄養士数	施設数	調理師数			
373	125	182	76	186	118	102	123	70	12	88	278	686	95	356	229

ア　給食施設指導状況

表７－（２）－ア　給食施設指導状況　　（単位：件）

区分			計	特定給食施設		その他の給食施設
				1回300食以上又は1日750食以上	1回100食以上又は1日250食以上	
個別指導	給食管理指導	巡回個別指導施設数	73	26	33	14
		その他指導施設数	269	28	154	87
	喫食者への栄養・運動指導延人員		－	－	－	－
集団指導	給食管理指導	回数	3	3		
		延施設数	327	75	179	73
	喫食者への栄養運動指導	回数	－	－	－	－
		延人員	－	－	－	－

イ　給食施設個別巡回指導

表７－（２）－イ　給食施設個別巡回指導状況

		総施設数	総指導施設数	管理栄養士・栄養士配置状況							
				管理栄養士のみいる施設		管理栄養士・栄養士どちらもいる施設		栄養士のみいる施設		どちらもいない施設	
				施設数	指導施設数（再掲）	施設数	指導施設数（再掲）	施設数	指導施設数（再掲）	施設数	指導施設数（再掲）
合　計		373	73	125	22	76	30	102	9	70	12
指定施設①	計	12	12	1	1	11	11				
	学校										
	病院	12	12	1	1	11	11				
	介護老人保健施設										
	介護医療院										
	老人福祉施設										
	児童福祉施設										
	社会福祉施設										
	事業所										
	寄宿舎										
	矯正施設										
	自衛隊										
	一般給食センター										
	その他										
300食/回，750食/日以上（指定施設①を除く）②	計	68	14	32	7	10	3	18	3	8	1
	学校	57	10	31	6	8	2	14	2	4	
	病院	1	1			1	1				
	介護老人保健施設										
	介護医療院										
	老人福祉施設										
	児童福祉施設	2				1				1	
	社会福祉施設										
	事業所	8	3	1	1			4	1	3	1
	寄宿舎										
	矯正施設										
	自衛隊										
	一般給食センター										
	その他										

		総施設数	総指導施設数	管理栄養士・栄養士配置状況							
				管理栄養士のみいる施設		管理栄養士・栄養士どちらもいる施設		栄養士のみいる施設		どちらもいない施設	
				施設数	指導施設数（再掲）	施設数	指導施設数（再掲）	施設数	指導施設数（再掲）	施設数	指導施設数（再掲）
100食/回，250食/日以上（①、②を除く）	計	202	33	64	9	45	12	55	5	38	7
	学校	20	3	11	1	1	1	6		2	1
	病院	12	12	5	5	7	7				
	介護老人保健施設	17	1	7	1	9		1			
	介護医療院	1				1					
	老人福祉施設	40	2	20		19	2	1			
	児童福祉施設	84	12	17	1	8	2	35	5	24	4
	社会福祉施設	3		1				2			
	事業所	19	3	2	1			5		12	2
	寄宿舎	1						1			
	矯正施設										
	自衛隊										
	一般給食センター										
	その他	5		1				4			
その他の給食施設	計	91	14	28	5	10	4	29	1	24	4
	学校	2		1				1			
	病院	5	5	3	3	2	2				
	介護老人保健施設	2		1		1					
	介護医療院	1								1	
	老人福祉施設	14	2	8	1	2	1	4			
	児童福祉施設	36	3	10	1	5	1	16	1	5	
	社会福祉施設	13	1	3				7		3	1
	事業所	9	2							9	2
	寄宿舎	2		1						1	
	矯正施設	1								1	
	自衛隊										
	一般給食センター										
	その他	6	1	1				1		4	1

※施設に出向き個別指導した件数を記入する。

※管理栄養士・栄養士配置施設の記入については，「衛生行政報告例記入要領」を参照すること。

ウ　給食施設開始届・廃止（休止）届・変更届指導

表７－（２）－ウ　給食施設開始届・廃止（休止）届・変更届指導　　（単位：件）

	給食施設開始届	給食施設廃止（休止）届	給食施設変更届
届 出 数	9	17（うち休止 3）	68
指 導 数	22	16	23

エ　給食施設集団指導

表７－（２）－エ　給食施設集団指導状況

名　　称	開催年月日	対象者	参加者数	内　　容
給食施設栄養管理担当者研修会	令和７年６月 24 日	管内（特定）給食届出施設の栄養管理担当者	151 施設 188 人 ２課４人	講演「日本人の食事摂取基準 2025 年版について～2020 年版からの変更点と活用上の留意点～」 講師　女子栄養大学　栄養学部 教授　上西　一弘　氏
給食施設管理者・従事者研修会	令和７年９月 26 日（動画視聴期間 9/8~10/31）	管内（特定）給食届出施設の管理者・従事者等	２施設２名（視聴報告数 158 施設 781 名）	講義「給食施設の衛生管理」 講師　生活衛生課　食品衛生監視員 講義「給食施設の栄養管理」 講師　地域保健課　栄養指導員 ※ハイブリッド（会場参集及び YouTube 配信）
給食施設栄養管理担当者研修会	令和８年２月 19 日	管内（特定）給食届出施設の病院の栄養管理担当者	16 施設 20 名	講演「GLIM 基準による低栄養診断と活用の実際」 講師　長崎県立大学　看護栄養学部 栄養健康学科 教授　西岡　心大　氏

（３）健康ちば協力店推進事業

表７－（３）－ア　健康ちば協力店登録状況

令和７年度登録件数			総登録件数
新規登録件数	変更件数	取消件数	
－	－	－	19

表７－（３）－イ　健康ちば協力店推進事業実施状況

区　分	飲食店等に対する普及啓発及び指導状況		登録後の協力店に対する指導			県民に対する普及啓発及び指導状況	
	回　数	延人員	回　数	延店舗数	延人員	回　数	延人員
個別指導	3	3	1	19	19	－	－
集団指導	1	11	－	－	－	－	－
合　　計	4	14	1	19	19	－	－

（４）栄養関係団体等への育成・支援

表７－（４）栄養関係団体等への育成・支援状況

組織状況及び活動状況			保健所による育成状況	
名　　称	会員数及び加入組織数	活動内容	育成内容	延育成人員
印旛保健所管内食生活改善協議会	3 組織	地域住民の健康増進、市町組織間の活動交流	役員会の出席、総会・研修会開催支援	55 人
印旛保健所管内栄養士会	80 人	総会及び役員会の開催、研修会の企画運営	役員会の出席、総会・研修会開催支援及び助言	95 人
印旛保健所管内調理師会	120 人	会員の資質向上	総会の出席	14 人

（５）調理師試験及び免許関係

表７－（６）調理師試験及び免許取扱状況　　（単位：名）

	調 理 師 試 験			免　許　交　付		
年　　度	受験者数	合格者数	合格率(%)	新規交付	書換交付	再交付
令和５年度	86	45	52.3	115	29	25
令和６年度	105	68	64.8	121	35	27
令和７年度	107	65	60.7	138	38	31

（6）その他（各保健所の独自事業）

表７－（6）印旛郡市保健指導者研究会栄養士部会実施状況

名称	開催月日	参加者数	内容
役員会	令和７年 5月12日 11月10日 令和８年 2月9日	延 12人	・栄養士部会年間の運営について ・研究会企画・準備について ・部会予算・次年度計画について ・部会事業実績について
第１回研究会	令和７年 6月9日	17人	情報交換「母子保健事業について」他
第２回研究会	令和７年 8月18日	16人	情報交換「災害対策の進捗状況について」他
第３回研究会	令和７年 12月 8日	18人	講演「健康増進計画を的確に評価する ―統計資料を読み取る視点を学ぶ―」他

８　歯科保健事業

（1）難病及び障害者等歯科保健サービス事業

表８－（1）難病及び障害者等歯科保健サービス事業実施状況

名　称	対象者	開催月日	内容	参加人員
－	－	－	－	－

９　精神保健福祉事業

「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（以下、精神保健福祉法）」に基づく相談業務、法施行業務を行っている。市町村・医療機関・地域の支援機関等と連携し、専門性や広域での調整を要する支援、措置入院者等の退院後支援等を行い、また、精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業や心神喪失者等医療観察法に関する会議等に参画し、地域精神保健福祉活動等を行っている。

（1）精神保健福祉相談関連

精神保健福祉相談員等が、措置入院に係る対応や、地域支援機関等と連携しながら、相談・訪問・電話等により、精神保健福祉に関する相談に随時応じているほか、精神科医師による定例相談も実施している。相談内容は、診療に関すること、生活支援、社会復帰、依存症、認知症等と広範にわたる。

表９－（１）－ア　精神保健福祉に関する相談対応の総数（対象者の性・年齢別）　　（単位：人）

	実人員	性			年齢					延人数
		男	女	不明	20歳未満	20歳～39歳	40歳～64歳	65歳以上	不明	
令和５年度	182	97	85	0	12	58	81	27	4	438
令和６年度	173	75	97	1	19	45	77	22	10	510
令和７年度	220	100	117	3	15	75	79	38	13	681
成田市	29	15	14	0	3	6	12	6	2	92
佐倉市	39	13	24	2	2	14	14	6	3	146
四街道市	23	10	13	0	1	3	13	6	0	95
八街市	14	6	8	0	0	4	4	6	0	29
印西市	20	8	12	0	6	6	6	2	0	35
白井市	11	5	6	0	1	4	4	2	0	53
富里市	15	12	3	0	0	3	9	1	2	48
酒々井町	6	4	2	0	1	3	1	1	0	26
栄　町	6	0	6	0	0	2	2	2	0	15
管外・不明	57	27	29	1	1	30	14	6	6	142
相　談	86(17)	38(4)	46(13)	2(0)	10(4)	29(7)	19(3)	20(3)	8(0)	331(17)
訪　問	134(1)	62(1)	71(0)	1(0)	5(0)	46(1)	60(0)	18(0)	6(0)	350(1)
電　話										5,842
その他										54

※1　相談、訪問の実人員は重複あり。

※2　精神科医師による定例相談については（　）に再掲。

※3　年齢は、当該年度の初回対応時を基準とする。

※4　令和７年度分より計上方法を変更。（通報件数含む）

表９－（１）－イ　精神科医師による定例相談

実　施　日	時　　間	場　　所
毎月　第１　木曜日	14：00～16：00	印旛保健所 （健康福祉センター）
毎月　第４　火曜日		
毎月　第４　金曜日		
毎月　第３　月曜日	14：30～16：30	

※件数は、表９－（１）－ア「相談・訪問の（ ）内」及び表９－（１）－エ「医学的指導」で計上。

表９－（１）－ウ　精神保健福祉に関する相談対応の総数（相談の種別、延数別）

（単位：人）

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	相談	訪問	電話	その他
延人数		438	510	6,577	331	350	5,842	54
精神保健福祉相談	診療に関すること	302	247	4,367	216	252	3,861	38
	社会復帰	7	19	192	5	13	174	0
	生活支援	35	100	776	53	35	681	7
	その他の相談	54	71	903	40	29	827	7
嗜癖関連問題に関する相談	アルコール	3	4	53	4	1	46	2
	覚醒剤	1	0	2	0	0	2	0
	その他の薬物	3	24	11	0	0	11	0
	ギャンブル	0	1	4	1	0	3	0
	ゲーム	－	－	8	0	0	8	0
摂食障害の相談		0	0	3	0	1	2	0
心の健康相談		4	11	80	0	6	74	0
思春期の相談		6	25	60	7	2	51	0
老年期の相談		20	1	35	2	10	23	0
てんかん		0	0	0	0	0	0	0
うつ・うつ状態		－	－	7	2	0	5	0
その他の相談		3	7	76	1	1	74	0

※　令和７年度分より計上方法を変更。（電話相談及びその他の対応件数、相談種別にゲーム、うつ・うつ状態の項目を追加）

表９－（１）－エ　精神保健福祉に関する相談対応の総数（援助の内容、延件数）

（単位：件）

	延件数	医学的指導	受療援助	生活支援 生活指導	社会復帰援助	紹介・連絡	関係機関調整 方針協議	その他
令和５年度	750	28	156	31	5	152	267	111
令和６年度	559	12	16	52	8	188	225	58
令和７年度	7,713	51	1,176	520	98		5,185	683

※1　援助内容は重複あり。

※2　令和７年度分より計上方法を変更。（表頭の「紹介・連絡」項目を削除）

（2）措置入院関係

精神保健福祉法に基づく申請・通報・届出を受理し、措置診察の必要性を判断するための事前調査を行う。措置診察が必要と判断された者には、精神保健指定医による診察を実施し、措置入院もしくは緊急措置入院の要否を判断する。措置入院が必要と判断された者に対しては、入院先医療機関までの移送を実施する。

表９－（2）－ア　申請･通報･届出等に係る対応状況（条文別）

（単位：件）

	申請・通報・届出等件数	措置診察の必要がないと認めた者	措置診察実施（法第27条）		緊急措置診察実施（法第29条の2）		措置業務に係る移送業務（法第29条の2の2）		
			措置入院	措置不要	緊急措置入院	緊急措置不要	1次移送	2次移送	3次移送
令和5年度	85	32	50	3	19	2	0	0	19
令和6年度	73	39	27	6	17	1	0	0	8
令和7年度	102	39	55	6	31	2	0	0	16
法第22条 一般人の申請	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第23条 警察官の通報	75	19	49	5	31	2	0	0	16
法第24条 検察官の通報	10	3	6	1	0	0	0	0	0
法第25条 保護観察所の長の通報	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第26条 矯正施設の長の通報	17	17	0	0	0	0	0	0	0
法第26条の2 精神科病院管理者の届出	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第26条の3 医療観察法に基づく指定通院医療機関の管理者及び保護観察所長の通報	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第27条第2項 通報等に基づかない診察	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※1　「申請・通報・届出等件数」は受理日で集計。

※2　精神保健指定医2名以上による診察を「措置診察」、緊急性が高く精神保健指定医1名による診察を「緊急措置診察」とする。

※3　緊急措置入院後は、原則として措置診察を実施することとなるが、緊急措置入院中に措置症状消退となることもある。

※4　措置不要には、措置入院以外の入院や入院にならなかった者を含む。

※5　1次・2次移送は、措置診察実施場所までの移送、3次移送は措置入院先医療機関までの移送。

表９－（２）－イ　申請・通報・届出に係る対応状況（性別・年齢別）　【再掲】

（単位：人）

	人員	性			年齢					延人数
		男	女	不明	20歳未満	20歳～39歳	40歳～64歳	65歳以上	不明	
相　談	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1
訪　問	68	37	31	0	0	34	26	8	0	117
電　話										1,175
その他										0

※年齢は、当該年度の初回対応時を基準とする。

（３）精神障害者の退院後支援

措置入院者等に対しては、平成 30 年に厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部長から発出された「地方公共団体による精神障害者の退院後支援に関するガイドライン」を元に、千葉県で作成した「精神障害者の退院後支援マニュアル」に基づき、帰住予定地を管轄する保健所が退院に関する支援を行う。同マニュアルに基づく支援の対象外とした者については、通常対応として支援を行う。

表９－（３）－ア　精神障害者の退院後支援に係る対応状況

（単位：人・件）

	支援対象者	支援計画作成あり	会議開催数
合計	28	0	0

※1　支援対象者とは措置入院をした者。（帰住予定先を管轄する保健所が実施する。）

※2　支援計画作成ありとは支援対象者のうち、本人の同意が得られ計画を作成した者。

（４）管内精神科医療機関からの届出等

精神保健福祉法に基づき、管内医療機関から各種届出等が提出される。

表９－（４）　管内精神科医療機関からの届出等件数

（単位：件）

	令和５年度	令和６年度	令和７年度
措置入院者の定期病状報告書	7	1	0
措置入院者の症状消退届	18	31	16
医療保護入院者の入院届	571	540	595
医療保護入院者の入院期間更新届	－	605	1,188
医療保護入院者の退院届	584	587	601
医療保護入院者の定期病状報告書	512	－	－
応急入院届	2	0	1
措置入院者転院申請書	3	1	0
仮退院許可申請書	3	0	0
再入院届	3	0	0

※1　「医療保護入院者の入院期間更新届」は、令和６年度より新設。
※2　「医療保護入院者の定期病状報告書」は、令和６年度より廃止。

（５）医療保護入院等のための移送（法第３４条）

精神保健指定医による診察の結果、精神障害者であり、かつ、直ちに入院させなければその者の医療及び保護を図る上で著しく支障がある者であって、任意入院が行われる状態にない場合、家族等の同意があるときはその者を応急入院指定病院に移送し、精神障害者の医療及び保護を図ることとしている。

表９－（５）医療保護入院等のための移送対応状況

（単位：件）

	受付件数	診察件数	移送件数
令和５年度	0	0	0
令和６年度	0	0	0
令和７年度	0	0	0

（６）心神喪失者等医療観察法関係

「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律」の対象者に対し、保護観察所・医療機関主催の処遇検討会議に参加し、地域において訪問等の支援を実施している。平成17年から同法が施行されたことに伴い、保健所においても各種会議への参加等が求められている。

表９－（６）医療観察法に係る会議への参加

（単位：件）

会議種別	CPA 会議	ケア会議	その他
参加回数	4	3	0

※「その他」は、CPA 会議(Care Programme Approach の略)とケア会議以外の会議に参加した件数を計上している。

（７）その他精神保健福祉関係

地域の実情に応じて、会議や研修会、精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業における協議の場等を通じて、各関係機関との連携を深めている。

表９－（７）－ア　会議・講演会等開催（保健所主催会議）

名称	開催日	参加人数（人）	対象者等
－	－	－	－

表９－（７）－イ　講師派遣

名称	日時	内容
令和７年度　第１回北総地区教育相談ネットワーク連絡協議会	令和７年６月 13 日（金） 午後１時 50 分～午後３時	「市販薬の過剰服薬や自傷を繰り返す若者たちの支援」
県立富里特別支援学校 職員研修会	令和７年７月 22 日（火） 午前９時 30 分～午前 11 時 30 分	「子どもと保護者の声を適切に把握するための面談の在り方」
県立印旛特別支援学校 校内研修会	令和７年７月 31 日（木） 午後１時 30 分～午後３時	「メンタルヘルスへの理解を深める」
佐倉市家庭等における虐待・暴力対策ネットワーク会議	令和７年 10 月９日（木） 午後１時 30 分～午後４時	「発達障害の現状と地域での支援について」
千葉県高齢者虐待防止 対策研修会	令和８年２月 10 日（火） 午後１時～午後３時	「高齢者と家族をまるごと支援する」～多問題家族の対応、他分野との協働を考える～
四街道市市民講演会	令和８年３月 24 日（火） 午後２時～午後４時	わかっちゃいるけどやめられない～依存症と家族について～

表９－（７）－エ　組織育成・運営支援

（単位：件）

	当事者支援	家族会支援	支援者支援	その他
支援延件数	13	2	－	－

10　肝炎治療特別促進事業

B型ウイルス性肝炎及びC型ウイルス性肝炎の治癒を目的として、平成 20 年度からインターフェロン治療、平成 22 年度から核酸アナログ製剤治療の医療費助成制度が開始され、窓口相談・申請手続業務を行っている。平成26年度にはインターフェロンフリー治療が助成対象となり、助成対象薬剤が拡充されたことに伴い、対象者が増加している状況である。なお、平成23年度から開始されたインターフェロン3剤併用療法については、プロテアーゼ阻害剤販売中止により令和3年10月に廃止された。

表10－（1）肝炎治療特別促進事業受給者状況　　（単位：人）

治療 / 年度・市町村	核酸アナログ製剤	インターフェロン	インターフェロンフリー
令和 5 年度	379	1	44
令和 6 年度	376		40
令和 7 年度	380		32
成　田　市	57		4
佐　倉　市	80		8
四街道市	46		4
八　街　市	38		7
印　西　市	74		3
白　井　市	38		1
富　里　市	21		4
酒々井町	17		0
栄　　町	9		1

11　肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業

B 型・C 型ウイルスに起因する肝がん・重度肝硬変患者の医療費の負担軽減を図りつつ、最適な治療を選択できるようにするための研究を促進する仕組みを構築することを目的として平成 30 年 12 月から助成が開始され、窓口相談・申請手続業務を行っている。

また、令和 3 年 4 月から、分子標的薬を用いた化学療法または肝動注化学療法による通院治療の対象化、対象月数は、3 月目以降に変更されている。

さらに、令和 6 年 4 月から助成の対象となる医療費についての月数要件が緩和され、自己負担額が高額療養費の基準を超えた月が過去 24 か月で 1 月以上ある場合、2 月目以降は自己負担額が月 1 万円となった。

表 11－（1）肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者状況　　（単位：人）

治療 / 年度・市町村	肝がん	重度肝硬変	総数
令和 5 年度			
令和 6 年度	1		1
令和 7 年度	2		2
成　田　市			
佐　倉　市			
四街道市	1		1
八　街　市	1		1
印　西　市			
白　井　市			
富　里　市			
酒々井町			
栄　　町			

12　難病対策事業

原因不明であって、治療方法が確立されていないため、長期にわたる療養が必要となり、高額な医療費の負担が必要となる難病に対し、医療費の自己負担分を助成している。対象は、難病法施行前の 56 疾患（特定疾患）から徐々に拡大し、348 疾病（指定難病）となっている。

なお、指定難病に移行していない 4 疾患については、特定疾患治療研究事業実施要綱に基づき、引き続き治療が必要な方の更新申請のみ受け付けている。

また、これらの患者やその家族が抱える医療や療養生活に関する問題等に対し、専門医による相談、保健師等による訪問指導や窓口相談を実施した。

表 12－（1）特定疾患治療研究費受給者状況　　（単位：件）

年度・市町村別 / 疾患名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	成田市	佐倉市	四街道市	八街市	印西市	白井市	富里市	酒々井町	栄町
総　数	3	3	3		1	2						
スモン	3	3	3		1	2						

表 12－（２）指定難病医療費助成制度受給者状況　　（単位：件）

	年度・市町村別 疾患名	令和5年度	令和6年度	令和7年度	成田市	佐倉市	四街道市	八街市	印西市	白井市	富里市	印旛郡酒々井町	印旛郡栄町
	総数	5904	6114	6309	1,106	1,642	807	570	882	467	445	192	198
1	球脊髄性筋萎縮症	13	13	15	4	1	1	1	2	3	2	1	－
2	筋萎縮性側索硬化症	36	33	45	7	12	5	3	8	4	4	1	1
3	脊髄性筋萎縮症	7	7	7	－	2	1	－	3	1	－	－	－
4	原発性側索硬化症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
5	進行性核上性麻痺	60	63	69	9	29	3	3	4	8	5	5	3
6	パーキンソン病	814	850	895	131	238	82	80	140	80	61	44	39
7	大脳皮質基底核変性症	31	33	34	5	7	6	4	5	2	2	2	1
8	ハンチントン病	9	7	7	－	－	2	1	－	1	2	1	－
9	神経有棘赤血球症	1	1	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－
10	シャルコー・マリー・トゥース病	7	10	10	－	3	2	1	－	2	－	1	1
11	重症筋無力症	161	162	174	23	46	27	13	20	20	10	7	8
12	先天性筋無力症候群	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	120	125	126	22	31	14	6	28	10	8	4	3
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	18	21	22	2	4	3	3	2	2	3	2	1
15	封入体筋炎	5	4	5	－	－	2	－	－	2	－	1	－
16	クロウ・深瀬症候群	1	1	2	－	1	－	－	1	－	－	－	－
17	多系統萎縮症	58	53	47	10	14	3	3	8	4	2	2	1
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	167	164	165	25	50	24	20	16	7	16	3	4
19	ライソゾーム病	5	7	8	2	2	2	1	－	－	1	－	－
20	副腎白質ジストロフィー	1	1	1	－	－	1	－	－	－	－	－	－
21	ミトコンドリア病	6	6	6	3	－	－	－	－	1	－	－	2
22	もやもや病	71	78	76	9	16	13	10	8	8	6	2	4
23	プリオン病	5	3	1	－	1	－	－	－	－	－	－	－
24	亜急性硬化性全脳炎	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
25	進行性多巣性白質脳症	1	1	1	－	－	－	1	－	－	－	－	－
26	HTLV-1関連脊髄症	3	4	4	－	3	－	1	－	－	－	－	－
27	特発性基底核石灰化症	1	1	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－
28	全身性アミロイドーシス	20	29	40	8	6	5	7	5	1	6	1	1
29	ウルリッヒ病	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
30	遠位型ミオパチー	－	－	2	－	－	－	1	－	1	－	－	－
31	ベスレムミオパチー	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
32	自己貪食空胞性ミオパチー	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
34	神経線維腫症	10	12	14	3	3	2	3	2	1	－	－	－
35	天疱瘡	22	14	11	1	1	2	1	3	2	1	－	－
36	表皮水疱症	3	3	3	1	1	－	1	－	－	－	－	－
37	膿疱性乾癬(汎発型)	13	14	14	2	3	－	2	6	－	－	－	1
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	1	2	1	－	－	－	－	1	－	－	－	－
39	中毒性表皮壊死症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
40	高安動脈炎	28	31	31	4	11	6	－	3	4	2	1	－
41	巨細胞性動脈炎	20	20	23	5	6	5	2	1	－	2	－	2
42	結節性多発動脈炎	11	10	11	2	3	1	－	3	1	－	1	－
43	顕微鏡的多発血管炎	70	79	83	13	25	10	10	10	3	9	1	2
44	多発血管炎性肉芽腫症	24	32	36	9	4	8	3	4	2	4	1	1
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	64	75	86	19	27	11	3	12	7	5	2	－
46	悪性関節リウマチ	27	24	24	4	1	3	3	7	1	5	－	－
47	バージャー病	10	9	8	2	2	1	－	－	1	1	－	1
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	5	6	4	－	1	2	－	－	－	－	1	－
49	全身性エリテマトーデス	371	369	352	61	98	47	29	48	27	22	7	13
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	121	139	146	30	38	21	8	18	13	12	3	3
51	全身性強皮症	124	124	118	14	41	10	12	17	4	7	5	8
52	混合性結合組織病	68	73	72	15	18	11	8	9	7	1	2	1
53	シェーグレン症候群	57	57	61	9	15	15	3	10	4	2	1	2
54	成人発症スチル病	28	29	31	2	8	4	5	6	2	2	－	2
55	再発性多発軟骨炎	5	7	7	－	1	1	2	－	－	1	1	1
56	ベーチェット病	92	90	92	13	26	14	11	13	7	4	2	2
57	特発性拡張型心筋症	96	103	99	21	23	17	8	12	4	9	2	3
58	肥大型心筋症	36	29	35	8	9	4	5	1	3	5	－	－
59	拘束型心筋症	1	1	1	－	－	1	－	－	－	－	－	－
60	再生不良性貧血	50	48	50	11	14	6	5	6	1	4	1	2

61	自己免疫性溶血性貧血	8	7	9	2	2	3	－	2	－	－	－	－
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	5	6	8	2	－	2	－	1	－	3	－	－
63	免疫性血小板減少症	98	85	77	10	17	12	12	9	4	8	－	5
64	血栓性血小板減少性紫斑病	2	2	2	－	－	1	1	－	－	－	－	－
65	原発性免疫不全症候群	21	21	18	6	3	3	1	1	1	1	2	－
66	IgA腎症	85	79	92	16	35	9	7	9	7	4	2	3
67	多発性嚢胞腎	73	79	83	14	23	7	6	9	6	12	2	4
68	黄色靭帯骨化症	29	30	31	10	7	3	4	1	3	3	－	－
69	後縦靭帯骨化症	149	162	155	44	28	17	7	18	11	21	5	4
70	広範脊柱管狭窄症	18	18	20	3	2	1	4	6	2	1	1	－
71	特発性大腿骨頭壊死症	97	101	104	27	31	10	10	11	4	7	2	2
72	下垂体性ADH分泌異常症	16	18	20	7	4	2	2	2	－	1	1	1
73	下垂体性TSH分泌亢進症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
74	下垂体性PRL分泌亢進症	15	15	14	3	4	2	1	－	1	1	2	－
75	クッシング病	8	9	8	1	2	1	－	1	1	1	1	－
76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	19	18	21	2	6	3	1	5	2	－	2	－
78	下垂体前葉機能低下症	93	99	106	18	22	15	12	22	6	2	6	3
79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
80	甲状腺ホルモン不応症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
81	先天性副腎皮質酵素欠損症	10	11	11	2	3	1	1	－	3	－	1	－
82	先天性副腎低形成症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
83	アジソン病	1	1	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－
84	サルコイドーシス	61	65	63	17	9	5	8	7	4	8	2	3
85	特発性間質性肺炎	141	153	179	32	42	21	21	17	15	16	7	8
86	肺動脈性肺高血圧症	30	37	39	5	8	8	7	6	2	2	－	1
87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	42	43	45	6	16	4	7	8	－	－	1	3
89	リンパ脈管筋腫症	4	4	4	－	2	－	－	－	1	1	－	－
90	網膜色素変性症	159	162	157	36	47	26	13	13	4	12	3	3
91	バッド・キアリ症候群	1	1	1	－	－	1	－	－	－	－	－	－
92	特発性門脈圧亢進症	2	－	1	－	－	－	－	－	－	1	－	－
93	原発性胆汁性胆管炎	73	70	65	10	18	8	9	6	6	4	1	3
94	原発性硬化性胆管炎	7	9	10	1	3	3	－	2	1	－	－	－
95	自己免疫性肝炎	29	30	31	6	9	3	5	6	1	1	－	－
96	クローン病	264	261	261	43	72	33	26	27	25	15	9	11
97	潰瘍性大腸炎	783	787	830	145	219	113	62	141	56	52	22	20
98	好酸球性消化管疾患	6	6	6	2	3	1	－	－	－	－	－	－
99	慢性特発性偽性腸閉塞症	1	1	1	－	－	－	－	1	－	－	－	－
100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
101	腸管神経節細胞僅少症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
103	CFC症候群	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
104	コステロ症候群	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
105	チャージ症候群	1	1	1	－	－	－	－	1	－	－	－	－
106	クリオピリン関連周期熱症候群	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
107	若年性特発性関節炎	9	11	10	3	1	2	－	－	1	2	1	－
108	TNF受容体関連周期性症候群	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
109	非典型溶血性尿毒症症候群	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
110	ブラウ症候群	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
111	先天性ミオパチー	4	4	4	2	－	1	－	－	1	－	－	－
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
113	筋ジストロフィー	21	24	25	6	4	6	1	2	2	3	－	1
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	1	1	1	－	1	－	－	－	－	－	－	－
115	遺伝性周期性四肢麻痺	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
116	アトピー性脊髄炎	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
117	脊髄空洞症	－	2	2	－	1	－	－	1	－	－	－	－
118	脊髄髄膜瘤	1	1	1	－	1	－	－	－	－	－	－	－
119	アイザックス症候群	1	1	1	－	－	－	－	－	1	－	－	－
120	遺伝性ジストニア	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
121	脳内鉄沈着神経変性症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
122	脳表ヘモジデリン沈着症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
123	ＨＴＲＡ１関連脳小血管病	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	－	－	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	1	1	1	－	1	－	－	－	－	－	－	－
126	ペリー病	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
127	前頭側頭葉変性症	7	7	6	1	1	－	－	2	1	－	1	－
128	ビッカースタッフ脳幹脳炎	－	－	2	1	1	－	－	－	－	－	－	－
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
130	先天性無痛無汗症	1	1	1	－	－	－	－	－	1	－	－	－
131	アレキサンダー病	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
132	先天性核上性球麻痺	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
133	メビウス症候群	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
134	中隔視神経形成異常症／ドモルシア症候群	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
135	アイカルディ症候群	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

136	片側巨脳症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
137	限局性皮質異形成	2	3	2	－	1	－	－	－	－	1	－	－
138	神経細胞移動異常症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
139	先天性大脳白質形成不全症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
140	ドラベ症候群	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
142	ミオクロニー欠神てんかん	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
144	レノックス・ガストー症候群	－	1	1	－	1	－	－	－	－	－	－	－
145	ウエスト症候群	2	2	2	－	－	－	1	1	－	－	－	－
146	大田原症候群	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
147	早期ミオクロニー脳症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
150	環状20番染色体症候群	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
151	ラスムッセン脳炎	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
152	PCDH19関連症候群	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
154	睡眠時棘徐波活性化を示す発達性てんかん性脳症及びてんかん性脳症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
155	ランドウ・クレフナー症候群	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
156	レット症候群	1	1	1	－	－	－	1	－	－	－	－	－
157	スタージ・ウェーバー症候群	1	1	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－
158	結節性硬化症	8	8	7	2	1	2	1	－	1	－	－	－
159	色素性乾皮症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
160	先天性魚鱗癬	2	3	3	－	－	－	2	1	－	－	－	－
161	家族性良性慢性天疱瘡	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	12	17	21	3	3	3	5	5	1	1	－	－
163	特発性後天性全身性無汗症	2	3	2	2	－	－	－	－	－	－	－	－
164	眼皮膚白皮症	2	3	3	－	2	－	－	1	－	－	－	－
165	肥厚性皮膚骨膜症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
166	弾性線維性仮性黄色腫	1	1	2	－	－	－	2	－	－	－	－	－
167	マルファン症候群／ロイス・ディーツ症候群	13	14	14	1	3	2	1	2	2	3	－	－
168	エーラス・ダンロス症候群	1	4	5	1	2	－	－	1	－	1	－	－
169	メンケス病	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
170	オクシピタル・ホーン症候群	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
171	ウィルソン病	1	2	2	1	1	－	－	－	－	－	－	－
172	低ホスファターゼ症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
173	VATER症候群	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
174	那須・ハコラ病	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
175	ウィーバー症候群	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
176	コフィン・ローリー症候群	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
177	ジュベール症候群関連疾患	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
178	モワット・ウィルソン症候群	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
179	ウィリアムズ症候群	1	1	1	－	－	－	－	－	－	1	－	－
180	ATR-X症候群	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
181	クルーゾン症候群	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
182	アペール症候群	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
183	ファイファー症候群	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
184	アントレー・ビクスラー症候群	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
185	コフィン・シリス症候群	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
186	ロスムンド・トムソン症候群	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
187	歌舞伎症候群	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
188	多脾症候群	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
189	無脾症候群	1	1	1	－	－	1	－	－	－	－	－	－
190	鰓耳腎症候群	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
191	ウェルナー症候群	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
192	コケイン症候群	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
193	プラダー・ウィリ症候群	1	2	2	－	－	1	－	1	－	－	－	－
194	ソトス症候群	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
195	ヌーナン症候群	1	1	1	－	－	－	－	－	－	1	－	－
196	ヤング・シンプソン症候群	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
197	1p36欠失症候群	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
198	4p欠失症候群	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
199	5p欠失症候群	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
201	アンジェルマン症候群	－	1	1	－	1	－	－	－	－	－	－	－
202	スミス・マギニス症候群	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
203	22q11.2欠失症候群	1	1	1	－	－	－	－	1	－	－	－	－
204	エマヌエル症候群	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
205	脆弱X症候群関連疾患	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
206	脆弱X症候群	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
207	総動脈幹遺残症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
208	修正大血管転位症	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
209	完全大血管転位症	4	4	5	1	－	1	3	－	－	－	－	－
210	単心室症	4	5	5	－	1	1	－	1	1	1	－	－

211	左心低形成症候群	1	1	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－
212	三尖弁閉鎖症	1	1	1	－	1	－	－	－	－	－	－	－
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	3	3	3	2	－	－	－	1	－	－	－	－
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	1	2	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－
215	ファロー四徴症	5	7	6	1	1	－	1	2	－	－	－	1
216	両大血管右室起始症	3	4	4	1	2	－	－	－	－	－	1	－
217	エプスタイン病	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
218	アルポート症候群	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
219	ギャロウェイ・モワト症候群	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
220	急速進行性糸球体腎炎	7	10	7	1	4	1	－	－	1	－	－	－
221	抗糸球体基底膜腎炎	2	2	3	2	－	－	－	－	－	－	－	1
222	一次性ネフローゼ症候群	92	100	96	18	23	13	10	16	7	7	1	1
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	2	2	2	1	－	1	－	－	－	－	－	－
224	紫斑病性腎炎	8	7	6	－	2	2	1	1	－	－	－	－
225	先天性腎性尿崩症	1	1	1	－	－	－	－	－	－	－	1	－
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	4	4	3	1	1	1	－	－	－	－	－	－
227	オスラー病	5	6	4	－	3	－	1	－	－	－	－	－
228	閉塞性細気管支炎	1	1	1	－	－	－	1	－	－	－	－	－
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	2	3	3	1	1	－	1	－	－	－	－	－
230	肺胞低換気症候群	1	3	3	－	－	2	1	－	－	－	－	－
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
232	カーニー複合	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
233	ウォルフラム症候群	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
235	副甲状腺機能低下症	2	2	1	－	－	1	－	－	－	－	－	－
236	偽性副甲状腺機能低下症	2	2	2	1	－	1	－	－	－	－	－	－
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
238	ビタミンD抵抗性くる病／骨軟化症	1	1	1	－	－	－	－	－	1	－	－	－
239	ビタミンD依存性くる病／骨軟化症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
240	フェニルケトン尿症	1	1	1	－	－	－	－	－	1	－	－	－
241	高チロシン血症１型	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
242	高チロシン血症２型	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
243	高チロシン血症３型	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
244	メープルシロップ尿症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
245	プロピオン酸血症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
246	メチルマロン酸血症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
247	イソ吉草酸血症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
248	グルコーストランスポーター１欠損症	2	2	2	－	1	1	－	－	－	－	－	－
249	グルタル酸血症１型	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
250	グルタル酸血症２型	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
251	尿素サイクル異常症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
252	リジン尿性蛋白不耐症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
253	先天性葉酸吸収不全	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
254	ポルフィリン症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
256	筋型糖原病	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
257	肝型糖原病	1	1	1	－	1	－	－	－	－	－	－	－
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
260	シトステロール血症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
261	タンジール病	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
262	原発性高カイロミクロン血症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
263	脳腱黄色腫症	－	－	1	－	－	1	－	－	－	－	－	－
264	無βリポタンパク血症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
265	脂肪萎縮症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
266	家族性地中海熱	9	9	10	2	－	2	1	2	－	2	－	1
267	高IgD症候群	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
268	中條・西村症候群	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
270	慢性再発性多発性骨髄炎	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
271	強直性脊椎炎	42	41	43	9	11	9	3	7	2	－	1	1
272	進行性骨化性線維異形成症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
274	骨形成不全症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
275	タナトフォリック骨異形成症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
276	軟骨無形成症	1	1	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－
277	リンパ管腫症／ゴーハム病	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
278	巨大リンパ管奇形(頚部顔面病変)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
279	巨大静脈奇形(頚部口腔咽頭びまん性病変)	－	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	1
280	巨大動静脈奇形(頚部顔面又は四肢病変)	－	1	1	－	－	－	－	1	－	－	－	－
281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
282	先天性赤血球形成異常性貧血	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
283	後天性赤芽球癆	4	4	6	1	1	1	1	1	－	－	1	－
284	ダイアモンド・ブラックファン貧血	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
285	ファンコニ貧血	3	2	2	－	－	－	－	2	－	－	－	－

286	遺伝性鉄芽球性貧血	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
287	エプスタイン症候群	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	2	1	2	－	2	－	－	－	－	－	－	－
289	クロンカイト・カナダ症候群	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
290	非特異性多発性小腸潰瘍症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
291	ヒルシュスプルング病(全結腸型又は小腸型)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
292	総排泄腔外反症	1	1	1	－	－	－	－	－	－	－	1	－
293	総排泄腔遺残	1	1	1	－	－	－	－	－	1	－	－	－
294	先天性横隔膜ヘルニア	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
295	乳幼児肝巨大血管腫	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
296	胆道閉鎖症	1	2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
297	アラジール症候群	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
298	遺伝性膵炎	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
299	嚢胞性線維症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
300	IgG4関連疾患	30	31	29	3	12	7	2	1	3	1	－	－
301	黄斑ジストロフィー	－	1	1	－	1	－	－	－	－	－	－	－
302	レーベル遺伝性視神経症	2	2	2	－	1	－	－	1	－	－	－	－
303	アッシャー症候群	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
304	若年発症型両側性感音難聴	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
305	遅発性内リンパ水腫	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
306	好酸球性副鼻腔炎	196	225	240	47	59	27	18	50	18	13	4	4
307	カナバン病	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
308	進行性白質脳症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
309	進行性ミオクローヌスてんかん	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
310	先天異常症候群	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
311	先天性三尖弁狭窄症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
312	先天性僧帽弁狭窄症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
313	先天性肺静脈狭窄症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
314	左肺動脈右肺動脈起始症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)／LMX1B関連腎症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
316	カルニチン回路異常症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
317	三頭酵素欠損症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
318	シトリン欠損症	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
319	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
321	非ケトーシス型高グリシン血症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
322	β-ケトチオラーゼ欠損症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
324	メチルグルタコン酸尿症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
325	遺伝性自己炎症疾患	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
326	大理石骨病	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	3	3	2	－	－	－	1	1	－	－	－	－
328	前眼部形成異常	1	1	3	－	1	1	－	1	－	－	－	－
329	無虹彩症	1	2	1	－	－	－	－	－	－	1	－	－
330	先天性気管狭窄症／先天性声門下狭窄症	1	1	1	－	1	－	－	－	－	－	－	－
331	特発性多中心性キャッスルマン病	16	14	15	4	3	－	1	1	2	4	－	－
332	膠様滴状角膜ジストロフィー	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
334	脳クレアチン欠乏症候群	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
335	ネフロン癆	－	1	1	－	－	－	－	－	1	－	－	－
336	家族性低βリポタンパク血症１（ホモ接合体）	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
337	ホモシスチン尿症	1	1	1	－	－	－	－	1	－	－	－	－
338	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
339	ＭＥＣＰ２重複症候群	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
340	線毛機能不全症候群（カルタゲナー症候群を含む。）	－	－	1	－	1	－	－	－	－	－	－	－
341	ＴＲＰＶ４異常症	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
342	LMNB1関連大脳白質脳症	／	／	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
343	PURA関連神経発達異常症	／	／	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
344	極長鎖アシル-CoA脱水素酵素欠損症	／	／	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
345	乳児発症STING関連血管炎	／	／	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
346	原発性肝外門脈閉塞症	／	／	1	－	－	－	－	－	1	－	－	－
347	出血性線溶異常症	／	／	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
348	ロウ症候群	／	／	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

（３）先天性血液凝固因子障害治療研究費受給者状況

表 12－（３）先天性血液凝固因子障害治療研究費受給者状況　　（単位：人）

年度	総数	成田市	佐倉市	四街道市	八街市	印西市	白井市	富里市	酒々井町	栄町
令和５年度	23	8	3	2	2	4	1	1	1	1
令和６年度	25	7	4	4	2	4	1	1	1	1
令和７年度	25	8	4	2	2	4	1	2	－	2

（４）難病相談事業

ア　在宅療養支援計画策定・評価事業

表 12－（４）－ア　在宅療養支援計画策定・評価会議実施状況　　（単位：人）

区分／年度	支援計画策定実施件数	支援計画評価実施件数	構成員					
			専門医	家庭医	看護師	理学療法士	保健師	その他
令和５年度	－	1	2	－	3	2	2	9
令和６年度	1	1	1	－	3	0	10	8
令和７年度	1	18	12	5	37	2	38	73

イ　訪問相談事業

（ア）訪問相談員派遣事業

表 12－（４）－イ－（ア）訪問相談員派遣事業実施状況

区分／年度	訪問相談員人数	回数	相談者	
			実人数	延人数
令和５年度	2	9	3	9
令和６年度	2	10	5	10
令和７年度	2	10	4	10

（イ）訪問相談員育成事業

表 12－（４）－イ－（イ）訪問相談員育成事業実施状況

区分／年度	実施日	主な内容	職種	人数
令和5年度	令和5年 11月9日	講演「難病についてみんなで知ろう！学びあおう！」	介護支援専門員等	138人
	12月12日	講演「支援事例の紹介～ALS 患者を中心に～」「コミュニケーション支援ついて」	介護支援専門員、ＮＳＷ等	24人
令和6年度	令和7年 1月9日	講演「医療的ケアが必要な方の個別避難計画作成について～千葉市の取り組みよりご紹介～」	訪問看護師、介護支援専門員等	60人
	令和7年 3月12日	講演「医療的ケアが必要な難病患者の支援体制について」	訪問看護師、介護支援専門員、相談支援専門員等	37人
令和7年度	令和7年 12月5日	1 講演「保健所における難病支援について」 講師　印旛保健所成田支所難病担当 2 講演「障害福祉サービスを活用した難病患者の支援」 講師 いんば障害者相談センター相談支援専門員 高橋　睦美 氏 3 グループワーク（支援者交流） ※成田支所主催	介護支援専門員、相談支援専門員等	33人
	令和7年 12月9日	1 講演「山武・印旛地区の地域性からみる在宅ケアチームの防災対策」 講師 四街道まごころクリニック看護師主任　湊由美香氏 2 講演「見た目に症状やその程度がわかりにくい難病患者さんたちの災害時の備えと求める支援」 講師 NPO 法人日本視神経脊髄炎患者会スペシャルアドバイザー深川　華代氏 ※印旛山武地域難病相談支援センター、山武保健所と共催	介護支援専門員、相談支援専門員等	52人

ウ　医療相談事業

表 12－（４）－ウ　医療相談事業実施状況

実施日	参加人数	実施会場	対象疾患	実施内容	従事者人数
令和7年 11月12日	32人	印旛合同庁舎 2階大会議室	筋萎縮性側索硬化症、多系統萎縮症、脊髄小脳変性症、パーキンソン病	講演と実技 「今日からはじめよう！安全に自分でできるリハビリテーション～言葉と身体のリハビリテーション～」 講師　成田赤十字病院 理学療法士　花澤　学氏、 言語聴覚士　吉田　和世氏 ※印旛山武地域難病相談支援センターと共催	15人
令和8年 1月19日	17人 (視聴回数 66回)	印旛合同庁舎 2階大会議室 （YouTube での後日配信)	潰瘍性大腸炎 クローン病	1講演　「炎症性腸疾患患者さんに知ってほしい病気と治療の基本」 講師　東邦大学医療センター 佐倉病院　消化器内科 教授　松岡　克善　氏 2講演　「腸にやさしく栄養をとるコツ」 講師　東邦大学医療センター佐倉病院　栄養部　管理栄養士　橋本　恵介　氏	7人

エ　訪問指導事業

表 12－（４）－エ　訪問指導事業実施状況(疾患別)　　(単位：件)

疾患名	令和5年度	令和6年度	令和7年度
総数	15	29	157
2　筋萎縮性側索硬化症	10	12	95
3　脊髄性筋萎縮症	－	－	1
5　進行性核上性麻痺	－	2	2
6　パーキンソン病	1	6	15
9　神経有棘赤血球証	－	1	－
11　重症筋無力症	－	－	4
17　多系統萎縮症	－	1	12
18　脊髄小脳変性症	2	－	15
22　もやもや病	－	－	1
23　プリオン病	2	－	－
46　悪性関節リウマチ	－	1	－
49　全身性エリテマトーデス	－	1	1

57　特発性拡張型心筋症	－	1	－
58　肥大型心筋症	－	－	1
69　後縦靭帯硬化症	－	1	－
84　サルコイドーシス	－	2	－
85　特発性間質性肺炎	－	－	2
113　筋ジストロフィー	－	1	7
280　巨大動静脈奇形（頸部顔面又は四肢病変）	－	－	1

オ　訪問診療等事業

表 12－（４）－オ　訪問診療等事業実施状況　　（単位：人）

区分／年度	指導人数		実施方法	従事者人数					
	実人員	延人員		専門医	主治医	看護師	理学療法士等	保健師	その他
令和５年度	－	－	－	－	－	－	－	－	－
令和６年度	－	－	－	－	－	－	－	－	－
令和７年度	－	－	－	－	－	－	－	－	－

（注）訪問リハビリテーションも含む。

カ　窓口相談事業

表 12－（４）－カ　相談内容　　（単位：人）

内容	令和５年度	令和６年度	令和７年度
相談者数（延）	487	380	132
申請等	372	293	87
医療	19	29	6
家庭看護	39	17	28
福祉制度	43	35	8
就労	3	3	1
就学	3	－	－
食事・栄養	4	－	－
歯科	－	－	－
その他	4	3	2

キ　難病対策地域協議会

表 12－（４）－キ　難病対策地域協議会実施状況

実施日	テーマ	構成員（職種）	延人数	内　　容
－	－	－	－	－

13　受動喫煙対策

健康増進法の改正により、令和元年 7 月 1 日に子どもや患者等が主な利用者となる施設は原則敷地内禁煙となった。また、令和 2 年 4 月 1 日から多くの人が利用する全ての施設において原則屋内禁煙となった。施設からの問合せや県民からの苦情等に基づく助言・指導等を行った。

表 13－（１）－ア　問合せ・苦情届出状況

区分／年度	件数	内訳				
		第一種施設	第二種施設	喫煙目的施設	旅客運送事業	規制対象外
令和 5 年度	18	－	17	－	－	1
令和 6 年度	35	1	32	－	－	2
令和 7 年度	13	1	7	2	－	3

表 13－（１）－イ　立入検査状況

区分／年度	件数	内訳				
		第一種施設	第二種施設	喫煙目的施設	旅客運送事業	規制対象外
令和 5 年度	－	－	－	－	－	－
令和 6 年度	－	－	－	－	－	－
令和 7 年度	－	－	－	－	－	－

14　市町村支援

管内市町の事業が、円滑な推進が図られるよう、市町健康づくり推進協議会等へ委員として参加し、事業計画・評価等の支援をしている。

（１）市町村への支援状況

表 14－（１）市町村への支援状況

項目／市町村	会議・連絡				技術的支援		
	会議名	回数	職種	主なテーマ	事業名	回数	職種
成田市	成田市精神保健福祉推進協議会	2回	精	・令和6年度事業報告 ・精神保健福祉フォーラム、メンタルヘルスフェアについて　等	－	－	－
	成田市健康づくり推進協議会	2回	課	・令和6年度健康増進部事業実績 ・成田市健康増進計画の進捗状況 ・令和8年度健康増進課事業計画（案）	－	－	－
佐倉市	佐倉市自立支援協議会　精神部会	3回	精	・精神部会の取り組みについて ・地域移行について等	－	－	－
	佐倉市健やかまちづくり推進委員会（書面）	1回	課	健康さくら21（第3次）進捗状況調査結果	－	－	－
四街道市	四街道市保健福祉審議会障がい福祉部会	2回	次	・第5次市障がい者基本計画（案） ・第4次市地域福祉計画（案）	－	－	－
	四街道市保健福祉審議会	2回	次	・市手話言語条例（案） ・第4次市地域福祉計画 ・第5次市障がい者基本計画	－	－	－
八街市	八街市健康づくり推進協議会	2回	次	・市新型インフルエンザ等対策行動計画の改訂 ・令和7年度健康増進事業報告 ・令和8年度健康増進事業計画（案）	－	－	－

印西市	印西市健康づくり推進協議会	3回	課	・協議会事業報告、計画 ・保健事業実績、計画 ・第2次、第3次健康いんざい21 ・第2次市自殺対策~~推進~~計画 ・新型インフルエンザ等対策行動計画	―	―	―
白井市	白井市自立支援協議会	3回	精	・令和6年度活動報告及び令和7年度計画 ・各部会・ワーキンググループ活動計画			
	白井市健康づくり推進協議会	2回	課	・第3次、第4次しろい健康プラン ・白井市民の「健康」に関するアンケート調査結果	―	―	―
富里市	富里市健康づくり推進審議会	1回	課	・令和6年度保健事業報告、令和7年度保健事業計画	―	―	―
栄町	栄町健康づくり推進協議会	2回	課	・町健康保健事業概要 ・令和7年度健康づくり事業報告及び令和8年度健康づくり事業計画（案）	―	―	―

＊職種：医（所長）、次（次長）、課（課長）、保（保健師）、栄（栄養士）、
精（精神保健福祉相談員）、事（一般行政）